

リーダーシップ研修で最優秀賞を受賞しました！

北上済生会病院 リハビリテーション科 菅原優帆

この度、令和2年12月20日に行われました、「0期療法士アクセラレーションプログラム 修了発表会」におきまして、最優秀賞である「最優秀アクセラ賞」を受賞致しました。

この「療法士アクセラレーションプログラム（通称：療法士アクセラ／主催：株式会社ALTURA）」は、リハビリテーション専門職者を対象とした業界初のリーダーシップ研修で、立ち上げとなる0期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインでの開催となりました。

全国から選抜された総勢20名の熱い思いをもった参加者が、令和2年6月～12月の日程でオンライン研修を受講し、「組織と業界を牽引する未来の療法士リーダー」に成長するため、半年間にわたり自己研鑽に励みました。

プログラム内では各々の参加者が、「マイプロジェクト」という課題の達成に向けて力を尽くしますが、この療法士アクセラの特筆すべき点は、“自己課題”の重要性に重きを置いている点です。通常、組織における課題や問題点を改善しようと試みる場合は“組織課題”に焦点を当てるのが通例ですが、「その“組織課題”を解決するためには、まずはその組織に所属する自分自身が変化しなければならない」という概念にもとづき、「他者」ではない「自己」と参加者は徹底的に向き合うこととなります。

私も半年間、「自己」と向き合う中で、「自分が成し遂げなければならないこと」を見出すことができました。医療機関である当院、北上済生会病院に所属する私は、「すべての医療機関を受診する患者さんを、今よりもう少しだけリハビリで幸せにする」を、自身の“人生におけるマイプロジェクト”に掲げました。その目的を達成するための行動目標として、私は当院のリハビリテーション科を「日本一、人が育つ組織」にしたいと考え、行動し続けて参りました。

0期療法士アクセラが修了しても目標達成までの道のりは程遠く、これからが本当のスタートであると認識しています。縁あって、0期療法士アクセラで出会うことができた全国の「仲間」とのつながりを大切にして、これからも地域医療とリハビリを受ける全国の患者さんのために日々精進したいと思います。



写真① 「0期療法士アクセラレーションプログラム 修了発表会(令和2年12月20日開催)」にて、「最優秀アクセラ賞」を受賞した瞬間のオンライン画面上の様子。



写真② 受賞した「最優秀アクセラ賞」の賞状をもつ私(菅原)



写真③ 「0期療法士アクセラレーションプログラム」を共に受講した当院リハビリテーション科スタッフ。右から羽沢大貴・菅原優帆・佐藤佑樹